

- 中部地方整備局では、平成20年から産学官による「建設ICT導入普及研究会」(会長:中部地方整備局長 会員424者)を設置し、現場見学会等の普及活動を実施するとともに、昨年度より「i-Construction」の取り組みについて積極的に進めています。
- 平成29年5月23日(火)に、これまでの活動や施工現場での工夫事例等について報告を行う「建設ICT導入普及研究会 第6回総会」が、出席者127名参加のもと、盛大に開催されました。
- 会議では、今後の活動方針が確認されるとともに、建設ICTの更なる普及に向けた意見等が出されました。

概要

- 日時:平成29年5月23日(火) 13:30~16:00
- 開催場所:桜華会館 本館4階 松の間
- 主催者:建設ICT導入普及研究会(事務局 企画部施工企画課)
- 出席者:
【会長】塚原中部地方整備局長、【副会長】岡村企画部長
【委員長】名古屋工業大学 山本名誉教授、【委員】名城大学 鈴木名誉教授 他
建設ICT導入普及研究会員
- 主な議題:
 1. i-Constructionの全国や研究機関での取り組み報告
 2. ICT活用工事導入効果報告
 3. 会員からの事例報告(4社)
 4. 研究会の今後の活動方針
 5. 各チームの取り組み及び今後の活動方針



会員企業からの取り組みや工夫事例の報告



塚原中部地方整備局長の挨拶で開会



(株)亀太 橋本氏



(株)新井組 稲越氏



水谷建設(株) 北里氏



(株)シーティーエス 酒井氏

研究会の今後の活動方針 (5つの柱)

- ICT施工のハードルを下げる
- 技術交流の場を提供
- 学生への学習支援
- 情報発信の充実
- ICT技術のスキルアップ



【山本委員長】



○建設ICTの導入効果が確認できた。
○今後は、生産性・安全性向上の観点についても 評価検討を進めて欲しい。

【鈴木委員】



○各会員からの報告はわかりやすく、良い取り組みであった。
○今後も研修や見学会を行って、建設ICTを広めて欲しい。